

衆議院環境委員会ニュース

平成 28.5.24 第 190 回国会第 12 号

5 月 24 日（火）、第 12 回の委員会が開かれました。

1 環境の基本施策に関する件

- ・福島県及び茨城県における放射性物質汚染対策等に関する実情調査のため、両県において視察を行った委員を代表して、赤澤委員長から報告を聴取しました。
- ・丸川環境大臣、井上環境副大臣、白石環境大臣政務官、鬼木環境大臣政務官、田中原子力規制委員会委員長及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

北川知克君（自民）

- ・昨年、廃棄物の処理及び清掃に関する法律を改正したが、同年 9 月に発生した関東・東北豪雨により生じた災害廃棄物に対して、改正法に基づきどのように対応したのか、丸川環境大臣に伺いたい。
- ・「明日の日本を支える観光ビジョン」に記載されている、国立公園満喫プロジェクトについて、どのように取り組む考えか、また、G7伊勢志摩サミットは、各国の首脳に対して日本の国立公園を広報する絶好の機会と考えるが、丸川環境大臣の意気込みを伺いたい。

石川昭政君（自民）

- ・茨城県内に分散保管されている指定廃棄物に関する安全対策、住民説明会、地域振興、風評被害対策についての具体的な方針を環境省に伺いたい。また、半減期が比較的長い核種を多く含む指定廃棄物の保管施設の対応方針について、白石環境大臣政務官に伺いたい。
- ・指定廃棄物の指定解除に関する手続き及び費用負担についての考え方を環境省に伺いたい。

田島一成君（民進）

- ・平成 20 年の公害健康被害補償法改正案の附帯決議に基づいて実施された「局地的大気汚染の健康影響に関する疫学調査（そらプロジェクト）」の結果がどのように生かされ、今後どのように生かしていくつもりなのか、環境省に伺いたい。また、同プロジェクトに対する丸川環境大臣の考えを伺いたい。
- ・現在、中央環境審議会の小委員会において石綿健康被害救済法の見直しが進められているが、法改正のスケジュールを環境省に伺いたい。また、内閣提出法律案として提出する予定か併せて伺いたい。
- ・化学物質対策について、省庁横断的な基本法を制定す

る必要があると考えるが、環境省における検討予定を伺いたい。

馬淵澄夫君（民進）

- ・気候変動による影響への適応計画の法制化について、これまでの議論の有無及び将来的な議論の予定を国土交通省、農林水産省及び経済産業省に伺いたい。
- ・適応計画の法制化に向け、環境省がイニシアティブをとる必要がある。法制化を検討し、いつまでに結果を出す考えなのか、丸川環境大臣に伺いたい。
- ・気候変動の影響への適応に関する関係府省庁連絡会議を開催し、適応計画の実施段階の連携を図っていく必要がある。丸川環境大臣の見解と、同会議を開催する意思を確認したい。

福田昭夫君（民進）

- ・破産した産業廃棄物処理業者「エコシティ宇都宮」の補助金問題について、農林水産省が栃木県の請求に応じないとしている理由を伺いたい。
- ・放射性物質汚染対処特措法の制定により、東京電力福島第一原子力発電所（以下「福島第一原発」という。）事故における東京電力の責任があいまいになったと考えるが、丸川環境大臣の見解を伺いたい。
- ・福島県内の指定廃棄物は、管理型処分場「フクシマエコテッククリーンセンター」ではなく中間貯蔵施設に搬入すべきと考えるが、環境省の見解を伺いたい。

玉城デニー君（生活）

- ・総務省が行った「アスベスト対策に関する行政評価・監視結果に基づく勧告」を受け、これまでに実施した対策について、環境省に伺いたい。
- ・環境省が策定した「災害時における石綿飛散防止に係

る取扱いマニュアル」について、周知徹底に関する取組を鬼木環境大臣政務官に伺いたい。

真山 祐一君（公明）

- ・第18回日中韓三カ国環境大臣会合（TEMM18）及びG7富山環境大臣会合における成果について、丸川環境大臣に伺いたい。
- ・子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）について、G7富山環境大臣会合における成果及び研究結果を国内、国外へ発信していく方策を、丸川環境大臣に伺いたい。
- ・中間貯蔵施設の用地交渉、施設整備について地方自治体とより強固な推進体制を構築する必要があると考えますが、環境省の見解を伺いたい。

塩川 鉄也君（共産）

- ・福島第一原発の津波対策について、地元住民の安心に応えるためにも、防潮堤の強化も含めて対策を図るべきと考えるが、田中原子力規制委員会委員長の見解を伺いたい。
- ・福島第一原発の廃炉・汚染水対策に携わる労働者の作業環境の改善のための防護装備の適正化及び健康相談窓口の設置の取組について、経済産業省及び厚生労働省の考え方を伺いたい。
- ・熊本地震の被災地におけるアスベストの飛散防止による地元住民等の健康被害を防止するため、しっかりとした実態把握と対応に万全を期すべきと考えるが、丸川環境大臣の見解を伺いたい。

河野 正美君（おおさか）

- ・9月にアメリカで国際自然保護連合（IUCN）の第6回世界自然保護会議が開催されるが、環境省はこの会議をどのように捉えているか、また、どのような姿勢で臨もうとしているか伺いたい。
- ・2020年に第7回の世界自然保護会議が開催される予定である。その年は世界遺産条約40周年や愛知目標の最終年になるなど節目の年になることから、是非とも世界自然保護会議の開催地として我が国が名乗りを上げるべきと考えるが、環境大臣の見解を伺いたい。

小沢 鋭仁君（おおさか）

- ・G7富山環境大臣会合では食品ロスの削減について議論されたとのことであるが、会合の場でフランスの食品廃棄禁止法について話題があがったか、丸川環境大臣に伺いたい。また我が国の食品ロスについて、丸川

環境大臣はどのように認識し、どのような取組が必要と考えているか、伺いたい。

- ・熊本地震における災害廃棄物の処理の進捗状況について、環境省に確認したい。併せて、災害廃棄物の広域処理に向けた取組の状況について、環境省に伺いたい。